

2022年度 越境型次世代リーダー研修

越境型次世代リーダーシップ実践プロジェクト(3か月間/オンライン+海外現地学習有り)

カオスの国、インドの社会課題解決に挑む

2022年 7月

NECマネジメントパートナー
人材開発サービス事業部

カオスの国、インドの社会課題解決に挑む

プロジェクトタイプ

最貧困層と高所得者層が共存するカオスな都市、社会課題も
ビジネスチャンスも山のようにある。

成長著しいインドにて、テクノロジーの力で社会課題解決に取り組む
スタートアップ企業へ、解くべき課題と解決策を提言する。



モデレーター: 見上真生さん

2015年グロービス経営大学院卒(MBA)/アジア地政学
プログラム修了/日本パートナーCFO協会所属/電機メ
ーカー駐在員インド7年目、学生や若手ビジネスマン、海外
駐在員向けのビジネス講座、日印や印のベンチャーの財務
アドバイザーなどのビジネスを行っている。



現地起業家(例): 山田晃一さん

総合商社にて経理部を経験し、中東エジプト・ヨルダン駐
在、東京本店にて中東・アフリカ地域を中心とするインフ
ラ開発に従事。2019年11月よりインドの企業OMC
Power社にCFO兼CAOとして出向中。世界の非電力・
系統脆弱地域における生活・経済基盤の底上げを目指す
起業家。

3
か
月
間

10月
下旬

Day1. 越境先や課題に対する解像度を深める

- 複数の現地起業家からの講演にて、想像を超える現実を知り、どのような想いで取り組んでいるのかを聴く。

11月
中旬・
下旬

Day2-3. 本質的な課題を検討し OODAループを回し
ソリューションを立案する

- 課題解決のフレームワークや、現地からの情報を追加で共有する。
- 情報収集・分析し、ソリューションを立案し発表。現地で検証したいことを明確化する。

12月
中旬

Day4-6. 現地情報を得て 2回目の OODAループを回す【現地】

- 必要な情報収集のため、複数の現場の視察、現地の人々との出会いをコーディネート。立案したソリューションに対するフィードバックを得る。
- 1次情報の獲得後、改めて課題の設定とビジネスソリューションを立案。
- 現地の専門家へ提案を行い、フィードバックをいただく。

12月
下旬

Day7. 経験を学びに昇華させる

- 取り組んできたミッションに向き合い、自分自身の視座の変化に気づく。
- 学びを自社業務や自分の人生にどうつなげるかを考察する

- **実施日程:** 2022年10~12月 +事後フォロー(3か月間)
- **形式:** ブレンデッド (一部Zoom)
- **対象層:** 主任~MGRクラス
- **募集定員:** 10名
- **受講料:** 1,000,000円

OODAループを2回回す

渡航前



- 見たことのないものに触れ、前提を崩す
- ゼロベースで考える
- 課題の本質を見極め仮説を立てる
- 解くべき課題を設定しソリューションを考える



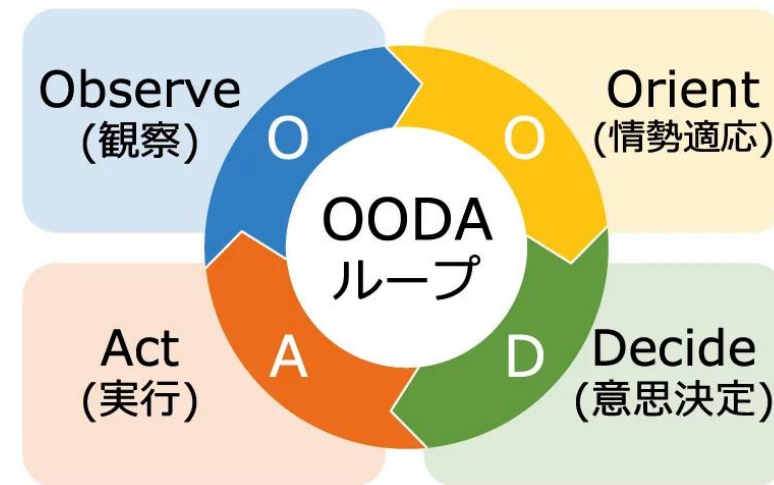
渡航後



- 現地で情報を取得し、もう一度前提が崩れる
- 仮説を立て直す
- 課題を分析する
- 課題解決の方向性を決める
- 課題解決の方向性を伝える
- 振り返りで自分自身の価値観と向き合う

#OODAループ

見通しの立たない状況において目標達成をするための意思決定方法です。「OODA(ウーダ)」は、「観察(Observe)」「仮説構築(Orient)」「意思決定(Decide)」「実行(Act)」の頭文字を取ったもの。想定外の状況や先の読めない環境において、特に力を発揮します。最も有名な業務改善のフレームワーク「PDCAサイクル」に代わる手法として、近年注目されています。



【出典】 <https://jinjibu.jp/keyword/detl/1129/>
<https://bizhint.jp/keyword/302255>

上司を巻き込んでの 事前オリエンテーション

プログラム開始前には、上司同席によるオリエンテーションを実施し、自分の強み・弱みなどを整理するとともに、研修での成長目標を立て共有します。

上司を伴って行うことで、上司の方にもプログラムへの理解を深めていただくとともに、受講者の成長を見守り支援する意識を醸成します。



LA(Learning Adviser) による事後伴走

プログラム本編の終了後から3か月間、NECマネジメントパートナー社認定のLA(Learning Adviser)が受講者と定期的に1on1やフォローアップセッションを行い、行動変容をサポートします。

また、最後には、上司の方も交えた3者面談を行い、今までの学びと変化、成長を共有するとともに、今後の成長目標について合意します。

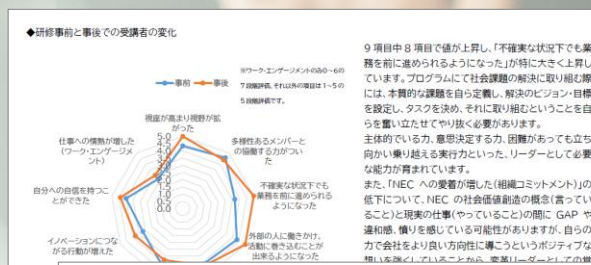
上司の方にも参加していただくことで、研修の場からOJTへのスムーズな引継ぎを実現いたします。



独自の評価レポートによる 成長度フィードバック

プログラムの事前・事後には独自のアセスメントを実施し、受講者の方々の認識の変化や成長度合いを測定いたします。

結果は評価レポートとして上司の方へフィードバックし、その後のマネジメントの参考としていただきます。



◆アンケート設問一覧表

項目	設問	事前	事後	差
3コア・価値観・行動指針を自ら意識している	視座が高まり視野が広がった	4	5	+1
	私は、主要な前提を見直し、それが適切なものかどうかを問題にしている	5	5	0
多様なメンバーとの協働する力が付いた	私は、様々な角度から問題を考えるようになっている	4	5	+1
	多様な意見をまとめるために、判断の根拠を見える化することを心がけている	5	5	0
不確実な状況下でも業務を前に進められるようになった	議論をするときには、言葉の定義、意図、意味を確認し、共通認識をつくることを心がけている	5	4	-1
	多様なメンバーが相手でも、なるべく共通に話せる土台をつくることを心がけている	4	4	0
外部の人に働きかけ、活動に巻き込めるようになった	業務において、個々のメンバーの問題意識を十分に意思表明する機会をつくることを心がけている	4	4	0
	メンバーの多様性が大きく意見がまとまらない懸念があっても、個々のメンバーの意見を聞く	5	5	0
仕事の意義を見出した(ジョブ・クラフティング)	職種・チームの目標が曖昧でも、自らスケジュールを設定して業務を前に進める	4	5	+1
	職種・チームの目標が曖昧でも、業務の進め方を決めることを躊躇しない	3	5	+2
自分の担当する仕事に、自分個人にとっての意義を見出す	職種・チームの目標が曖昧でも、業務で必要なのは自ら意思決定する	4	5	+1
	外部の人に働きかけ、活動に巻き込めるようになった	4	5	+1
仕事の意義を見出した(ジョブ・クラフティング)	仕事を通じて関わる人々の数を増やしていく	4	5	+1
	仕事上で関わる人々のことをよく知ろうとする	4	5	+1
自分の担当する仕事に、自分個人にとっての意義を見出す	他職種・他部署への仕事上の働きかけを増やしていく	5	5	0
	いかに仕事か、自分の人生に目的を与えているかについて考える	3	3	0
自分の担当する仕事に、自分個人にとっての意義を見出す	仕事か自分の人生に、どのようにより影響を与えているかについて考える	4	3	-1
	自分の担当する仕事に、自分個人にとっての意義を見出す	4	4	0

実施日程

セッション	実施日	時間	場所	参加者
事前サポート オリエンテーション	2022年10月13日(木)	13:30-15:30	オンライン(Zoom)	上司、受講者
Day1	2022年10月27日(木)	13:30-16:30	オンライン(Zoom)	受講者
Day2	2022年11月15日(火)	13:30-16:30	オンライン(Zoom)	受講者
Day3	2022年11月29日(火)	13:30-16:30	オンライン(Zoom)	受講者
移動日	航空便、宿泊先に指定はありません。(推奨する便や宿泊先は別途お伝えいたします。)			
Day4	2022年12月12日(月)	9:00-18:00	現地(インド)	受講者
Day5	2022年12月13日(火)	9:00-18:00	現地(インド)	受講者
Day6	2022年12月14日(水)	9:00-15:00	現地(インド)	受講者
移動日	航空便、宿泊先に指定はありません。(推奨する便や宿泊先は別途お伝えいたします。)			
Day7	2022年12月20日(火)	13:30-16:30	オンライン(Zoom)	受講者
事後サポート 個人面談(LAとの1on1)	2023年1月 ※別途日程調整	1時間 ※別途日程調整	オンライン(Zoom)	受講者
事後サポート 個人面談(LAとの1on1)	2023年2月 ※別途日程調整	1時間 ※別途日程調整	オンライン(Zoom)	受講者
事後サポート フォローアップセッション	2023年3月3日(金)	13:30-15:30	オンライン(Zoom)	受講者
事後サポート 3者面談(受講者、上司、LA)	2023年3月 ※別途日程調整	1時間 ※別途日程調整	オンライン(Zoom)	上司、受講者

グループ
活動

留意事項/備考

- ・本コースは、約3か月間のグループ活動(8回の集合セッション)+約3か月間の事後フォロー(個人面談3回、集合セッション1回)があります。
- ・本コースはオンライン(Zoom)+現地学習(インド・グルガオン/3日間)にて実施いたします。
 - ※現地学習を実施する都市は変更となる可能性があります。
- ・最少催行人数に満たない場合、中止とさせていただきます。
- ・やむを得ない理由により、中止とさせていただきます場合は、お申込者の方にキャンセル期限日までにご連絡いたします。
- ・**自然災害、疫病の流行(COVID-19等)、その他のやむを得ない事情が発生し、現地開催ができない場合は、フルオンラインでの実施とさせていただきます。**
- ・**現地開催可否の判断日は2022年10月27日(木)とさせていただきます。航空券の発行、宿泊先の予約など現地学習で費用が発生する手配は判断日以降に手配いただきますよう、お願いいたします。**
- ・現地学習で発生する、次の費用は参加費用には含まれません。
 - ①参加者のパスポートおよび査証の申請及び取得にかかる費用
 - ②受入先企業が必要とする場合における各種証明書類の申請及び取得にかかる費用
 - ③参加者が利用する航空機の航空運賃
 - ④各国空港税・日本国内の空港使用料・航空保険料・燃油サーチャージ等、航空券購入時に付随する費用
 - ⑤海外旅行保険料
 - ⑥国内および研修国現地での参加者の滞在費・交通費・食費ならびにお小遣いなどの個人的費用
 - ⑦渡航前および帰国後の国内オリエンテーションにかかる参加者の通信費および交通費
- ・東京(成田)からインド(デリー)の往復航空券料金の目安は、15万円前後です。(2022年7月6日時点)
- ・オンラインの際は、以下の環境からご参加ください。
 - ①Zoomを使用できる
 - 詳細: Zoom受講マニュアル([https:// www.neclearning.jp/training/remotelive/pdf/Zoom.pdf](https://www.neclearning.jp/training/remotelive/pdf/Zoom.pdf))
 - ②Microsoft OneDriveを使用できる
 - OneDriveアクセステスト:上記のZoom受講マニュアル(12ページ:3.Zoom以外の準備/OneDriveアクセステスト)をご確認ください。
 - ③Microsoft Officeがインストールされている
 - ④マイクとカメラをONにできる
- ・本コースは、コース実施のためお客様の個人情報を株式会社タイガーモブに提供させていただきます。

お問い合わせ先

お問い合わせ先

NECマネジメントパートナー 人材開発サービス事業部
越境型次世代リーダー研修担当 (ekkyo@hrd.jp.nec.com)

\Orchestrating a brighter world

NEC